

平成30年度内灘町公共事業評価委員会会議録

1. 日時 平成31年2月5日（火）10：00 から 11：30
2. 場所 内灘町役場 4 階 406 会議室
3. 出席委員 竹村委員、滝内委員、中谷委員、一枚田委員（北上委員 欠席）
4. 議事 （仮称）白帆台 IC 整備事業の再評価について
5. 議事の概要 意見：（仮称）白帆台 IC 整備事業の再評価の結果及びこれに基づく対応方針は、適当と認める。
6. 配布資料 ・委員会次第
・【資料1】内灘町公共事業評価委員会設置要綱
・【資料2】内灘町公共事業再評価実施要領
・【資料3】内灘町公共事業評価委員会名簿
・【資料4】事業再評価資料

議事録

- 1 開 会
- 2 委嘱状の交付
川口内灘町長より各委員
- 3 挨拶
川口内灘町長
- 4 委員の紹介
- 5 委員長の互選
（事務局）
本日の委員会は、5名中4名の委員にご出席頂いており、当委員会設置要綱第5条第2項の規定により、会議は成立していることをご報告申し上げます。
委員互選により竹村委員長選任。
- 6 副委員長の指名
委員長により滝内副委員長指名。
- 7 議 事
（仮称）白帆台 IC 整備事業の再評価について
・（仮称）白帆台 IC 整備事業の再評価について
（説明員）
～（仮称）白帆台 IC 整備事業について説明～
事業の目的として、内灘町が抱える3点の課題 ①南部地区と北部地区の均衡ある発展と北部地区の定住促進 ②南部地区と北部地区を結ぶ道路ネットワークの充実 ③北

部地区の豊かな自然、スポーツ・レクリエーション資源等の利用促進を図る の3点の課題に効果があると判断し、事業に着手しました。

事業概要は、事業名称：(仮称) 白帆台 IC 整備事業、事業箇所：内灘町字宮坂地内、計画交通量：2,800 台/日、事業費：7.3 億円であります。事業の経緯は、事業化は平成 28 年度、工事着手は平成 30 年度からとなっております。現在の事業進捗率は平成 30 年度末見込みで 45%であります。

事業効果を図る上で、公共事業の効果を金銭に置き換えてその妥当性を評価するための指標として、費用便益比 (B/C) を国土交通省道路局で定めている、費用便益分析マニュアルに基づき算出しました。結果として、便益 (B) は 14.08 億円、費用 (C) は 8.50 億円、費用便益比 (B/C) は 1.7 となり、便益 (B) が費用 (C) を上回り、投資効果が大きく、金沢方面へのアクセス向上により、北部地区の定住促進や災害時の避難経路拡大、既存施設の利用促進のほか、内灘町内の幹線道路における渋滞緩和、交通事故削減に寄与することから、事業効果は高いと判断されます。このことから、事業を継続する方針で考えております。

(竹村委員長)

説明が終わりました。ご意見がありましたら、お願いいたします。

(滝内副委員長)

3点気になる事があります。白帆台インターチェンジ整備が行われることで、便利で、通勤通学時間が短くなり、金沢市から内灘町に来る方も増えると思うが、逆に便利になることで、町内での買い物が減り、町外での買い物が増え、町外に行く機会が増えるのではないかと。町全体に落ちるお金に影響は出ないのか。2つ目に、交通量が増え、車の性能が上がっているとはいえ、自然豊かな環境が排気ガスなどで悪影響が出ないのか。3つ目に事業費について消費税が 10%に増税となることを考慮した検討であるのかをお聞かせください。

(説明員)

1つ目の通勤通学が便利になるが、町全体に落ちるお金に影響は、との問いについて、白帆台地区には、町の総合公園がありスポーツ、レクリエーション施設が充実しております。そこに来られる交流人口を加味しています。また、白帆台中央部には商業施設誘致スペースもあり企業誘致の面からも金沢市方面からのアクセスが便利になることは望ましいと考えます。町外に出る支出分を補う事が出来る効果を期待できると考えます。

2つ目の環境面での影響について、のと里山海道を利用することにより通過する交差点数が減る分、車の走行速度が向上し、自動車からの排気ガスを減少させることができると考えています。

3つ目の消費税増税を考慮した検討であるかについて、確かに 2019 年 10 月より 2%増となりますが、費用便益比が 1.7 なので、残事業費が 2%増となっても、全体の事業費への影響は大きくなく、十分な費用対効果があるものと考えております。

(竹村委員長)

計画交通量 2,800 台/日とあるが、単純に交通量が増加ではなく、町中の他の箇所で交通量が減るという事ではないのですか。

(説明員)

はい。その通りです。

(中谷委員)

事業効果の指標の費用便益比 (B/C) が、1 以上と示されている事に加え、懸念される問題点はあるかもしれないが、説明通りの効果が得られるのであれば、事業箇所が北部地区であるとはいえ、内灘町全体で見ても必要な施設であると考えます。

(一枚田委員)

北部地区、白帆台地区が発展するためには、幹線道路が必要であると考えます。内灘町は内灘大橋、内灘橋の 2 つの橋でしか南北が繋がっていない。災害時においても不安がある。この事業により、一つのルートが増えるのは良い事と考えます。

(竹村委員長)

費用便益比 (B/C) が 1.7 とされているが、国の評価では最低限 1.0 以上をクリアするというものなのですか。

(説明員)

一概に 1.0 以上という決まりはありませんが、1.0 以下であれば投資効果が無いと判断されることが多いと考えます。

(竹村委員長)

他にご意見はありませんか。それでは委員会としての意見のとりまとめを別室にて行いたいので、移動よろしく願いいたします。

別室 (405 会議室) へ移動

～委員会意見とりまとめ～

別室 (405 会議室) より、会場 (406 会議室) へ移動

【意見具申】

(竹村委員長)

委員会意見を読み上げる。

平成 30 年度内灘町公共事業評価委員会の意見具申について

内灘町公共事業評価委員会に対し、審議依頼のあった (仮称) 白帆台 I C 整備事業について審議を行い、別紙のとおり意見を取りまとめたので具申する。

今後の事業継続等に係る方針の決定については、この意見を十分に尊重すると共に、

事業の推進にあたっては、事業目的の達成や効果の向上に努めるよう申し添える。

内灘町公共事業評価委員会意見

意見

（仮称）白帆台 I C 整備事業の再評価の結果及びこれに基づく対応方針は、適当と認める。

対応方針 継続

以上となりますが、委員の皆様よろしいでしょうか。

（出席委員）

異議なし

（竹村委員長）

それでは、これを持ちまして、平成 30 年度の公共事業評価委員会の審議を終了します。
お疲れさまでした。

8 閉会